高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科 国語 科目 現代の国語 単位数 2 単位
 対象学年組 第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（三省堂「新 現代の国語」）

- 教科 国語 の目標：
- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 情報 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。</p> <p>◆異なる形式で書かれた複数の文章や、図表等を伴う文章を読み、理解したことや解釈したことをまとめて発表したり、他の形式の文章に書き換えたりする。</p>	<p>1 わかり合うために</p> <p>「伝え合いに大事なことを考える」 ●情報を読み解く</p> <p>「届く言葉、届かない言葉」 ●情報を要約する</p> <p>「わかりあえないことから」 「聞く力」 ●情報を関連づけてまとめる</p>			○					8
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 情報 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話す・聞く ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫すること。</p> <p>◆自分の考えについてスピーチをしたり、それを聞いて、同意したり、質問したり、論拠を示して反論したりする。 ◆集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。</p>	<p>2 確かな情報を伝えるために</p> <p>「情報はつくられる」 ●情報を吟味する</p> <p>「ひとまず、信じない」 ●情報と適切につきあう</p> <p>「情報を編集し、的確に発表する—パブリックスピーチ」 ●情報を適切に編集する</p>	○							10

<p>1 学期</p> <p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 書く ・目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 ❖調べたことを整理して、報告書や説明資料などにまとめる。</p>	<p>3 情報を生かすために</p> <p>「人が死なない防災」 ●情報を集めて選ぶ</p> <p>「減災学をつくる」 ●情報を整理する</p> <p>「評価した情報をまとめる 一報告書」 ●情報を作りかえる</p>		<p>【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○ ○ ○	8
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ウ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 エ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 情報 イ 個別の情報と一般化された情報との関係について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 読む イ 目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めること。 ❖ア 論理的な文章や実用的な文章を読み、その内容や形式について、引用や要約などをしながら論述したり批評したりする。</p>	<p>4 よりよい読み手になるために</p> <p>「読むことのレッスン」 ●情報を分析・評価する</p> <p>「水の東西」 ●説明の方法を理解する</p> <p>「コインは円形か」 ●さまざまな視点から情報を捉える</p>		<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○ ○ ○	8

2 学 期	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>情報 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話す・聞く ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫すること。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。</p> <p>❖報告や連絡、案内などのために、資料に基づいて必要な事柄を話したり、それらを聞いて、質問したり批評したりする。 ❖集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。</p>	<p>5 場に応じて伝えるために</p> <p>「中身当てクイズ」 ●根拠を明確にして考えを伝える</p> <p>「読み比べる ー海ガメの無念」 ●表現の仕方に注意する</p> <p>「構成や展開を意識して発表するープレゼンテーション」 ●相手を意識して自分の考えを伝える</p>	○	<p>【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使ったり、話し言葉の特徴を踏まえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○ ○ ○	8
	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。</p> <p>情報 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 書く ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>❖読み手が必要とする情報に応じて手順書や紹介文などを書いたり、書式を踏まえて案内文や通知文などを書いたりする。</p>	<p>6 説得力を高めるために</p> <p>「折々のことば」 ●引用の目的やはたらきを理解する</p> <p>「宝探しみたいに本の世界へ入っていきます」 ●説明の仕方を考える</p> <p>「情報を整理して推薦する ーブックトーク原稿」 ●情報を活用する</p>	○	<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○ ○ ○	10

3 学 期	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 情報 ・ 推論の仕方を理解し使うこと。 ・ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 話す・聞く ・ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりすること。 ・ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫すること。</p> <p>❖ 話合いの目的に応じて結論を得たり、多様な考えを引き出したりするための議論や討論を、他の議論や討論の記録などを参考にすること。 ❖ 集めた情報を資料にまとめ、聴衆に対して発表する。</p>	<p>7 説得力を高めるために</p> <p>「檻の中の“街”」 ● ある事実をもとに未知の事柄を押し量る</p> <p>「小さな哲学者」 ● 情報を関係づけてまとめる</p> <p>「多様な意見に触れる — パネルディスカッション」 ● 伝えることの意味や方法を理解する</p>	○	<p>【知識・技能】 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・ 推論の仕方を理解し使っている。 ・ 引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・ 論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いの仕方や結論の出し方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使ったり、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解すること。 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 情報 ・ 推論の仕方を理解し使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 書く ・ 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること。 ・ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすること。</p> <p>❖ 論理的な文章や実用的な文章を読み、本文や資料を引用しながら、自分の意見や考えを論述する。</p>	<p>8 よりよい書き手になるために</p> <p>「ありのままの世界は見えない」 「ものごとば」 ● 事例と主張の関係を整理する 「情報を活用して説得的に書く — 小論文」 ● 自分なりの考えをまとめる 「書いた文章を批評し合う — 推敲」 ● 意図が十分に伝わる書き方を探る</p>	○	<p>【知識・技能】 ・ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・ 推論の仕方を理解し使っている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・ 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・ 目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・ 文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解したり、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などを踏まえて、自分の文章の特長や課題を捉え直したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
							合計	
							70	

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（三省堂「新言語文化」）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
<p>【知識及び技能】</p> <p>言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>書く ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。</p> <p>◆本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。</p>	<p>春を切り抜く</p> <p>「フォトレポートに表す」 ●構成や描写を工夫する</p>				<p>【知識・技能】</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>【知識及び技能】</p> <p>言葉の特徴や使い方 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】</p> <p>読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。</p>	<p>1 読書は生きる力 ―読書の意義について考える</p> <p>「枕草子 春はあけぼの／ありがたきもの」 ●文章に表れたものの見方・考え方を捉える</p> <p>「故事二編 虎の威を借る／朝三暮四」 ●慣用的な表現を捉える</p> <p>「ゴール」 ●物語の解釈の多様さを考える</p>				<p>【知識・技能】</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査						○	○	○	1

<p>1 学期</p>	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。</p> <p>我が国の言語文化 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 読む ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p> <p>❖ 作品の内容や形式について、批評したり討論したりする。</p>	<p>2 物語は無限に展開する ―構成や展開について考える</p> <p>「沙石集 児の飴食ひたること」 ● 物語を構成する要素を捉える</p> <p>「説苑 景公之馬」 ● 物語の全体構成を捉える</p> <p>「羅生門」 ● 物語の展開を把握する</p>			<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 書く ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。</p> <p>❖ 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。</p>	<p>夏を切り抜く</p> <p>「短歌・俳句に表す」 ● 素材のよさや味わいを生かす</p>	○		<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>定期考査</p>						○	○	○	1
	<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解すること。</p> <p>我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 イ 古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 読む ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p> <p>❖ 和歌や俳句などを読み、書き換えたり外国語に訳したりすることなどを通して互いの解釈の違いについて話し合ったり、テーマを立ててまとめたりする。</p>	<p>3 言葉は時空をかけめぐる ―言語文化の継承と創造について考える</p> <p>「伊勢物語 芥川/筒井筒」 ● 物語に表れた心情表現を考える</p> <p>「和歌十首 小倉百人一首より」 「短歌七首 近代・現代の短歌」 ● 作品世界を豊かに想像する</p> <p>「野焼」 ● 言葉と文化の関係を捉え直す</p>	○		<p>【知識・技能】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	8

2
学
期

<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 書く ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にすること。</p> <p>❖本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。</p>	<p>秋を切り抜く</p> <p>「詩に表す」 ●語句や表現技法を吟味する</p>			<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>3</p>
<p>定期考査</p>					<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 読む ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。</p> <p>❖作品の内容や形式について、批評したり議論したりする。</p>	<p>4 人の心は万華鏡 一人物像や心情について考える</p> <p>「オムライス」 ●心情表現の多様さを捉える</p> <p>「十八史略 鶏口牛後／先従隗始」 ●言語表現の多様さを捉える</p> <p>「平家物語 木曾の最期」 ●人物像を批評する</p>			<p>【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・言文一致体や和漢混交文など歴史的な文体の変化について理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解したり、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>9</p>
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 読む ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p> <p>❖我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について論述したり発表したりする。</p>	<p>5 共感海を越える 一言語文化の交流について考える</p> <p>「漢詩四編」 ●作品の背景を想像する</p> <p>「待ち伏せ」 ●物語の役割を考える</p> <p>「インタビュー 『人間』を描きたい」 ●言語文化の価値を捉え直す</p>			<p>【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解したり、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>8</p>
<p>定期考査</p>					<p>○ ○ ○</p>	<p>1</p>

<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 我が国の言語文化 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 読む ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価すること。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。</p> <p>❖ 古典から受け継がれてきた詩歌や芸能の題材、内容、表現の技法などについて調べ、その成果を発表したり文章にまとめたりする。</p>	<p>6 文学は主張する ー世界に対する認識のあり方について考える</p> <p>「徒然草 神無月のころ／家居のつきづきしく」 ●身のまわりの物事を批評的に捉える</p> <p>「なめとこ山の熊」 ●物語を批評的に捉える</p> <p>「論語八章」 ●ものの見方・考え方を振り返る</p>		<p>【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価することができる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしたり、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	9
<p>【知識及び技能】 言葉の特徴や使い方 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 我が国の言語文化 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 書く ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫すること。</p> <p>❖ 本歌取りや折句などを用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで、随筆などを書いたりする。</p>	<p>冬を切り抜く</p> <p>「随筆に表す」 ●表現効果を高めようとする</p>	○	<p>【知識・技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使ったり、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫したりすることに向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>				○	○	○	1
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 地歴公民科 科目 歴史総合

教科： 地歴公民科 科目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 帝国書院「明解 歴史総合」 ）

教科 地歴公民科 の目標： 基本的基礎的知識の定着と、事象に対して「問い」を立てに探究する力を身に付けさせる。

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標： 現代社会につながる歴史の流れを理解し、歴史的事象から諸問題を考察できる力を身に付けさせる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・歴史の扉 【知識及び技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 科目全体の学習の見通しを立て、課題を追究しようとする。	ガイダンス 歴史総合の科目特性 中学校歴史的分野の復習	【知識・技能】 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域および世界の歴史とつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と関わらせて、私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象と日本や日本周辺の地域および世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	3
	第2章 近代化と私たち ①結びつく世界と日本の開国 【知識及び技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりする。 【思考力、判断力、表現力等】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとする。	1 18世紀の東アジア 2 結びつくアジア諸地域 3 18世紀のヨーロッパとアジア 4 産業革命のはじまり 5 世界市場の形成 6 東アジア国際関係の変化と日本の開国 7 世界経済の変化と日本の産業革命	【知識・技能】 近代化に伴う生活や社会の変容について、諸資料から、情報を適切に読み取ったり、まとめたりしている。 【思考・判断・表現】 近代化に伴う生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化に伴う生活や社会の変容について、学習の見通しを立て、課題を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	第2章 近代化と私たち ②国民国家と明治維新 【知識及び技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとする。	1 市民革命と近代社会 2 自由主義とナショナリズム 3 アジアの諸国家とその変容 4 明治維新と東アジアの国際関係 5 立憲制の広まり 6 帝国主義と植民地 7 日清戦争と華夷秩序の解体 8 帝国主義諸国の競合と国際関係 9 植民地支配と植民地の近代 10 20世紀はじめの世界	【知識・技能】 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、立憲体制と国民国家の形成を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近代化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。	○	○	○	11
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち ①第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとする。</p>	<p>1 大衆社会の時代 2 第一次世界大戦の展開 3 国際協調体制の形成 4 ソヴィエト連邦の成立と社会主義 5 アメリカ合衆国の台頭と大量消費社会 6 アジアの経済成長と移動する人々 7 反植民地主義の高揚と国際秩序の変容 8 民主主義の拡大と社会変革の動き 9 マスメディアの発達と日常生活</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦の展開，日本やアジアの経済成長，ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭，ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響，日本の参戦の背景と影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，第一次世界大戦の性格と惨禍，日本とアジアおよび太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 国際秩序の変化や大衆化と私たち ②経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識・技能】 世界恐慌，ファシズムの伸長，日本の対外政策などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際協調体制の動揺を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p>	<p>1 世界恐慌 2 アジア・アフリカと大衆社会 3 国際協調体制の崩壊 4 日中戦争と深刻化する世界の危機 5 第二次世界大戦の勃発 6 第二次世界大戦における連合国と戦後構想 7 アジア太平洋戦争と日本の敗戦 8 連合国の占領政策と冷戦 9 再編されるアジアと冷戦</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌，ファシズムの伸長，日本の対外政策などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際協調体制の動揺を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際秩序の変化や大衆化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 経済危機の背景と影響，国際秩序や政治体制の変化などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，各国の世界恐慌への対応の特徴，国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	○	○	○	9
定期考査			○	○		1	
<p>第4章 グローバル化と私たち ①冷戦と世界経済</p> <p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際政治の変容を理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現する。</p>	<p>1 冷戦の拡大と第三勢力 2 キューバ危機と核兵器の管理 3 脱植民地化の進展と地域紛争 4 計画経済と開発 5 冷戦下の日本とアジア 6 日本と欧米先進国の経済成長 7 地域連携の拡大 8 ベトナム戦争と冷戦構造の変容</p>	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国，冷戦下の地域紛争，先進国の政治の動向，軍備拡張や核兵器の管理などを基に，諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ，国際政治の変容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について，見通しを持って学習に取り組もうとし，学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域紛争の背景や影響，冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して，主題を設定し，日本とその他の国や地域の動向を比較したり，相互に関連付けたりするなどして，地域紛争と冷戦の関係，第三世界の国々の経済政策の特徴，欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し，表現している。</p>	○	○	○	9	

3 学 期	第4章 グローバル化と私たち ② 世界経済の変容と日本 【知識・技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解する。 【思考・判断・表現】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。	1 問い直される近代 2 石油危機と経済の自由化 3 アジアの経済発展と日本 4 冷戦の終結と世界 5 拡散する地域紛争 6 民主化の進展 7 グローバル化と地域統合 8 岐路に立つ世界と日本	【知識・技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめ、市場経済の変容と課題を理解している。 【思考・判断・表現】 グローバル化の歴史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとし、学習を振り返りながら課題を追究しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。				9	
	定期考査				○	○		1
	第4章 グローバル化と私たち ③ 現代的な諸課題の形成と展望 【知識・技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明する。 【思考・判断・表現】 「歴史総合」で学んだ全ての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けての課題を見いだそうとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、その結果を表現する。	歴史探究の方法 グループ活動 グループ発表	【知識・技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題について理解し、説明している。 【思考・判断・表現】 「歴史総合」で学んだ全ての内容における自身の学習の経緯について、自身の関わりを踏まえて振り返るとともに、次の学びに向けての課題を見いだそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。		○	○	○	7
							合計	
							70	

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数 I 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 数研出版「高等学校 数学 I」 ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 式の計算 【知識及び技能】 降べきの順に整理したりすることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 式の計算を簡略化することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察させる。	・多項式の加法と減法 ・多項式の乗法 ・因数分解	【知識・技能】 同類項をまとめたり、降べきの順に整理したりすることができる。 【思考・判断・表現】 式を1つの文字におき換え、式の計算を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 式の変形、整理など、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	B 単元 実数 【知識及び技能】 分数を循環小数で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 対称式の値の求め方を考察させる。	・実数 ・根号を含む式の計算	【知識・技能】 循環小数を表す記号を用いて、分数を循環小数で表すことができる。 【思考・判断・表現】 根号を含む式の計算について、一般化して考えられる。 【主体的に学習に取り組む態度】 対称式の値の求め方に興味を示し、自ら考察しようとする。	○	○	○	7
	C 単元 1次不等式 【知識及び技能】 1次不等式を解くことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 絶対値記号をはずす処理ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察させる。	・不等式の性質 ・1次不等式 ・絶対値を含む方程式・不等式	【知識・技能】 不等式における解の意味を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 絶対値記号を含むやや複雑な式についても、適切に絶対値記号をはずす処理ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 不等式における解の意味について、等式における解と比較して、考察しようとする。	○	○	○	7
D 単元 集合と命題 【知識及び技能】 2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ベン図などを用いて、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 命題と集合との関係について、積極的に理解させる。	・集合 ・命題と条件 ・命題と証明	【知識・技能】 集合とその表し方を理解している。また、2つの集合の関係を、記号を用いて表すことができる。 【思考・判断・表現】 ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 命題と条件の違いや、命題と集合との関係について、積極的に理解しようとする。	○	○	○	7	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	A 単元 2次関数とグラフ 【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 放物線の平行移動について考察させる。	・関数とグラフ ・2次関数のグラフ	【知識及び技能】 2次式を平方完成した形に変形できる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の特徴について、表、式、グラフを相互に関連付けて多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 放物線の平行移動や対称移動の一般公式を考察しようとする。	○	○	○	10
	B 単元 2次関数の値と変化 【知識及び技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 定義域が変化するときの最大値や最小値について、考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数の決定条件について考察させる。	・2次関数の最大・最小 ・2次関数の決定	【知識・技能】 2次関数が最大値または最小値をもつことを理解している。 【思考・判断・表現】 定義域が変化するときや、グラフが動くときの最大値や最小値について、考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数の決定条件に興味、関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	C 単元 2次方程式と2次不等式 【知識及び技能】 2次方程式の解き方を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 2次関数のグラフとx軸の位置関係について理解させる。	・2次方程式 ・2次関数のグラフとx軸の位置関係 ・2次不等式	【知識・技能】 2次方程式の解き方として、因数分解、解の公式を理解している。 【思考・判断・表現】 2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 2次関数のグラフとx軸の位置関係を調べ、その意味を探ろうとする。	○	○	○	17
定期考査			○	○		1	
3 学 期	A 単元 三角比 【知識及び技能】 正弦、余弦、正接が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角比の相互関係を考察することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 θ を求める際に、図を積極的に利用させる。	・三角比 ・三角比の相互関係 ・三角比の拡張	【知識・技能】 直角三角形において、正弦、余弦、正接が求められる。 【思考・判断・表現】 三平方の定理をもとに三角比の相互関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角比が与えられたときの θ を求める際に、図を積極的に利用しようとする。	○	○	○	10
	B 単元 三角比への応用 【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 三角形の内接円と面積の関係を理解させる。	・正弦定理 ・余弦定理 ・正弦定理と余弦定理の応用 ・三角形の面積 ・空間図形への応用	【知識及び技能】 正弦定理を用いて、三角形の辺の長さや外接円の半径が求められる。 【思考力、判断力、表現力等】 三角形の辺の長さや角の大きさと余弦定理との関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 三角形の内接円と面積の関係を導こうとする。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C 単元 データの分析 【知識及び技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察させる。	・データの整理 ・データの代表値 ・データの散らばりと四分位数 ・分散と標準偏差 ・2つの変数の間の関係 ・仮説検定の考え方	【知識・技能】 度数分布表、ヒストグラムについて理解している。 【思考・判断・表現】 データの散らばりの度合いをどのように数値化するかを考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 変数の変換によって、平均値や標準偏差がどのように変化するか、考察しようとする。	○	○	○	10
						合計	105

年間授業計画

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科：理科 科目：科学と人間生活 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（第一学習社「高等学校 科学と人間生活」）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として知識と技能を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として理解を深め、考え方を学ぶ。
- 【学びに向かう力、人間性等】自然科学全般について、基礎的な内容を中心として興味と関心を深める。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について知識と技能を深める。	自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解を深め、考え方を学ぶ。	自然と人間生活とのかかわり、および科学技術が人間生活に果たしてきた役割について興味と関心を深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を深める。 ・微生物の研究や分類についての知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を学ぶ。 ・微生物の研究や分類について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深める。 ・微生物の研究や分類について興味と関心を深める。	・光の発生、速さ ・光の反射、屈折 ・微生物の研究 ・微生物の分類	【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を身に付けているか。 ・微生物の研究や分類についての知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を身に付けているか。 ・微生物の研究や分類について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深めることができたか。 ・微生物の研究や分類について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	B 単元 【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を深める。 ・微生物と食品や医薬品についての知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を学ぶ。 ・微生物と食品や医薬品について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深める。 ・微生物と食品や医薬品について興味と関心を深める。	・光の分散、散乱 ・光の回折、干渉、偏光 ・食品と微生物 ・医薬品と微生物	【知識及び技能】 ・光の性質について知識と技能を身に付けているか。 ・微生物と食品や医薬品についての知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・光の性質について理解し、考え方を身に付けているか。 ・微生物と食品や医薬品について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・光の性質について興味と関心を深めることができたか。 ・微生物と食品や医薬品について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
定期考査			○	○		1	
2 学 期	C 単元 【知識及び技能】 ・電磁波の種類と利用について知識と技能を深める。 ・ヒトと生命現象と光について知識と技能を深める。 ・遺伝子の働きとタンパク質の合成についての知識と技能を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電磁波の種類と利用について理解し、考え方を学ぶ。 ・ヒトの生命現象と光について理解し、考え方を学ぶ。 ・遺伝子の働きとタンパク質の合成について理解し、考え方を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電磁波の種類と利用について興味と関心を深める。 ・ヒトと生命現象と光について興味と関心を深める。 ・微生物と食品や医薬品について	・電磁波の種類とその利用 ・ヒトの生命現象と光 ・遺伝子とDNA ・タンパク質の合成	【知識及び技能】 ・電磁波の種類と利用について知識と技能を身に付けているか。 ・ヒトと生命現象と光について知識と技能を身に付けているか。 ・遺伝子の働きとタンパク質の合成についての知識と技能を身に付けているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・電磁波の種類と利用について理解し、考え方を身に付けているか。 ・ヒトの生命現象と光について理解し、考え方を身に付けているか。 ・遺伝子の働きとタンパク質の合成について理解し、考え方を身に付けているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・電磁波の種類と利用について興味と関心を深めることができたか。 ・ヒトと生命現象と光について興味と関心を深めることができたか。 ・微生物と食品や医薬品について興味と関心を深めることができたか。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 大修館書店「現代高等保健体育」 ）

教科 保健体育

の目標：

- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元 体づくり 【知識及び技能】 ①体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができるようにする。 ②実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>①体ほぐし運動 ②筋力を高める運動 ③体育祭練習</p>	<p>知識・技能】 ①定期的、計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることを理解している。 ②運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことを理解している。 【思考・判断・表現】 ①のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 ②リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通して、気づいたり関わり合ったりすることができる。 【学びに向かう力、人間性】 ①体づくり運動の学習に主体的に取り組むことができる。 ②仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合うことができる。</p>	○	○	○	9
<p>B 単元 【知識及び技能】 ①クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ②平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 ③背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に主体的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなど、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>①クロール ②平泳ぎ ③背泳ぎ</p>	<p>【知識・技能】 ①腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキールホルムの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームプル）で進むことができる。 ②手の入水時のキック、かき終わりのときのキック及び呼吸動作を一定のリズムで行うことができる。 【思考・判断・表現】 ①選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。 ②自己や仲間の技術的な課題やその課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えている。 ③選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。 【学びに向かう力、人間性】 ①水泳の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとしている。 ③仲間と互いに合意した役割について自己の責任を果たそうとしている。 ④一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 ⑤水泳の事故防止の心得を遵守するなど健康・安全を確保しようとしている。</p>	○	○	○	9

<p>A バスケットボール</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>A 卓球</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p> <p>①ストローク ②サーブ ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】 ①種目の特性や成り立ちを理解し取り組むことができる。 ②バスケットボールで高まる体力を理解している。 ③バスケットボールでの体力の高め方を理解している。 ④技術の名称や行い方を理解し、基本的なボール操作を身に付けることができる。 ⑤技術の名称や行い方を理解し、安定したボール操作で攻防することができる。 ⑥安定したボール操作と空いている場所を作り出すなどの動きでゴール前に侵入し、攻防することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①自分やチームの課題を発見し、課題解決に向けて練習を工夫して実践しようとしている。 ②自分やチームで考えた事を他の人にも伝えるようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①ゲームや練習に主体的に取り組む、勝敗を競う楽しさを味わうとしている。 ②ルールやマナーを守り、健康・安全に留意して学習しようとしている。 ③一人ひとりの違いに応じたプレイを認め、仲間にアドバイスしたり、助け合ったり教え合ったりしようとしている。</p> <p>【知識・技能】 ①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。 ②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 ③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。 ②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】 ①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。 ③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>	○	○	○	18
--	--	--	---	---	---	----

学期	<p>A サッカー</p> <p>【知識及び技能】 安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p> <p>A テニス</p> <p>【知識及び技能】 役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、作戦などについての話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①パス ②ドリブル ③シュート ④ゲーム</p> <p>①ストローク ②ボレー ③スマッシュ ④ゲーム</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイント理解している。</p> <p>②戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイント理解している。</p> <p>③ゲームに必要な技術と関連させた補助運動や部分練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</p> <p>④ゴールの枠内にシュートをコントロールできる。</p> <p>⑤味方が操作しやすいパスを送ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活動を振り返ることができる。</p> <p>②チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活動を振り返ることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組むことができる</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>【知識・技能】</p> <p>①戦術や作戦に応じて、技能をゲーム中に適切に発揮することが攻防のポイントであることを理解している。</p> <p>②サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。</p> <p>③ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。</p> <p>②自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①球技の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>②相手を尊重するなどのフェアなプレイを大切にしようとしている。</p> <p>③互いに練習相手になったり仲間に助言したりして、互いに助け合い教え合おうとしている。</p>				18
3学期	<p>A 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 距離走では、自己に適したペースを維持して、一定の距離を走り通し、タイムを短縮したり、競走したりできるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>①長距離走</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①技術と関連させた運動や練習を繰り返したり、継続して行ったりすることで、結果として体力を高めることができる。</p> <p>②リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができることを理解している。</p> <p>②呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れ走ることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①課題解決の過程を踏まえて、自己や仲間の新たな課題を発見することができる。</p> <p>②自己や仲間の課題を解決するための練習の計画を立てることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性】</p> <p>①陸上競技の学習に主体的に取り組もうとすることができる。</p> <p>②一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようすることができる。</p>				9

79	<p>A 体育理論</p> <p>【知識及び技能】 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、その理念が時代に応じて多様に変容してきていること。また、我が国から世界に普及し、発展しているスポーツがあること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組むこと。</p>	<p>① ライフステージにおけるスポーツの楽しみ方</p> <p>② ライフスタイルに応じたスポーツとの関わり方</p> <p>スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に主体的に取り組むこと。</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>① スポーツは、人類の歴史とともに世界各地で日常の遊びや生活などから生まれてきたこと、近代になって、スポーツは娯楽から競技に変化し、一般の人びとに広がっていったこと、現代では、競技だけでなく、広く身体表現や身体活動を含む概念としてスポーツが用いられるようになってきており、その理念が時代に応じて多様に変容してきていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>① スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスポーツの意義や価値について、事実や理念を整理したり、自己のスポーツへの関わりを見いだしたりして、自己や社会にスポーツがもたらす影響について課題を発見することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>① 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に、主体的に取り組もうとすることができる。</p>	○	○	○	7
							合計
							70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位
 対象学年組：第1学年 1組～ 6組

使用教科書：（大修館書店「現代高等保健体育」）

- 教科 保健体育 の目標：
- 【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解する。健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見する。</p>	<p>日本における健康課題の変遷 健康の考え方と成り立ち ヘルスプロモーションと健康に関わる環境づくり 健康に関する意思決定・行動選択 現代における感染症の問題 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防</p>	<p>【知識・技能】 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命など各種の指標や疾病構造の変化を通して理解している。健康水準、及び疾病構造の変化には、科学技術の発達、及び生活様式や労働形態を含む社会の状況が関わっていることについて理解している。</p> <p>健康水準の向上、疾病構造の変化に伴い、個人や集団の健康についての考え方も変化してきていることについて理解している。このことを、疾病や症状の有無を重視する健康の考え方や、生活の質や生きがいを重視する健康の考え方などを例として理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 免疫、遺伝、生活行動などの主体要因と、自然、経済、文化、保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>国民の健康課題、健康の考え方と成り立ち、健康の保持増進のための適切な意思決定や行動選択と環境づくりについて、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識・技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>生活習慣病の予防と回復 身体活動・運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 がんの予防と回復</p>	<p>【知識・技能】 がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病などを適宜取り上げ、これらの生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6

	<p>【知識・技能】 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解する。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解する。 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解する。また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解する。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価する。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>喫煙と健康 飲酒と健康 薬物乱用と健康</p>	<p>【知識・技能】 喫煙、飲酒と健康 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康を損ねることを理解している。 また、喫煙や飲酒による健康課題を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観の育成などの個人への働きかけ、及び法的な整備も含めた社会環境への適切な対策が必要であることを理解している。 薬物乱用と健康 コカイン、MDMAなどの麻薬、覚醒剤、大麻、など、薬物の乱用は、心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解している。 また、薬物乱用を防止するには、正しい知識の普及、健全な価値観や規範意識の育成などの個人への働きかけ、及び法的な規制や行政的な対応など社会環境への対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 喫煙、飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取組を個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 喫煙、飲酒の健康、薬物乱用と健康について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
2 学期	<p>【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、身体 の健康と同じく、適切な運動、食 事、休養及び睡眠など、調和のと れた生活を実践すること、早期に 心身の不調に気付くこと、心身に 起こった反応については体ほぐし の運動などのリラクゼーションの 方法でストレスを緩和することな どが重要であることを理解する。 心身の不調時には、不安、抑う つ、焦燥、不眠などの精神活動の 変化が、通常時より強く、持続的 に生じること、心身の不調の早期 発見と治療や支援の早期の開始 によって回復可能性が高まること を理解する。 人々が精神疾患について正しく理 解するとともに、専門家への相談 や早期の治療などを受けやすい社 会環境を整えることが重要である こと、偏見や差別の対象ではない ことなどを理解する。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、 習得した知識を基に、心身の健康 を保ち、不調に早く気付くために 必要な個人の取組や社会的な対 策を整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対 処について、課題の解決に向け ての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>精神疾患の特徴 精神疾患への対応</p>	<p>【知識・技能】 精神疾患の予防と回復には、身体 の健康と同じく、適切な運動、食 事、休養及び睡眠など、調和のと れた生活を実践すること、早期に 心身の不調に気付くこと、心身に 起こった反応については体ほぐし の運動などのリラクゼーションの 方法でストレスを緩和することな どが重要であることを理解している。 心身の不調時には、不安、抑うつ、 焦燥、不眠などの精神活動の変化 が、通常時より強く、持続的に生 じること、心身の不調の早期発見 と治療や支援の早期の開始によ って回復可能性が高まることを理 解している。 自殺の背景にはうつ病をはじめと する精神疾患が存在することある ことを理解している。 人々が精神疾患について正しく理 解するとともに、専門家への相談 や早期の治療などを受けやすい社 会環境を整えることが重要である こと、偏見や差別の対象ではない ことなどを理解している。 【思考・判断・表現】 精神疾患の予防と回復について、 習得した知識を基に、心身の健康 を保ち、不調に早く気付くために 必要な個人の取組や社会的な対 策を整理することができる。 現代社会と健康について、自他や 社会の課題の解決方法と、それを 選択した理由などを話し合ったり、 ノートなどに記述したりして、筋 道を立てて説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 精神疾患の特徴、精神疾患への対 処について、課題の解決に向け ての学習に主体的に取り組もうと している。</p>	○	○	○	6

	<p>【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組む。</p>	<p>事故の現状と発生要因 交通事故防止の取り組み 安全な社会の形成</p>	<p>【知識・技能】 事故の現状と発生要因 事故は、地域、職場、家庭、学校など様々な場面において発生していること、事故の発生には、周りの状況の把握及び判断、行動や心理などの人的要因、気象条件、施設・設備、車両、法令、制度、情報体制などの環境要因などが関連していることを理解している。</p> <p>安全な社会の形成 事故を防止したり事故の発生に伴う傷害等を軽減したりすることを目指す安全な社会の形成には、交通安全、防災、防犯などを取り上げて、法的な整備などの環境の整備、環境や状況に応じた適切な行動などの個人の取組、及び地域の連携が必要であることを理解している。</p> <p>交通安全 交通事故を防止するには、自他の生命を尊重するとともに、自分自身の心身の状態や周りの環境、車両の特性などを把握すること、及び個人の適切な行動、交通環境の整備が必要であることを理解できるようにする。また、交通事故には補償をはじめとする法的責任などが生じることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 安全な社会生活における事象や情報などについて、安全に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。</p> <p>安全な社会づくりについて、様々な事故や災害の事例から、安全に関する情報を整理し、環境の整備に応用することができる。</p> <p>交通安全について、習得した知識を基に、事故につながる危険を予測し回避するための自他や社会の取組を評価することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 事故の現状と発生要因、安全な社会の形成、交通安全について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	6
3 学期	<p>【知識・技能】 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解する。 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解する。</p> <p>心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>応急手当の意義と救急医療体制 心肺蘇生法 日常的な応急手当</p>	<p>【知識・技能】 応急手当の意義 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解している。</p> <p>自他の生命や身体を守り、不慮の事故災害に対応できる社会をつくるには、一人一人が適切な連絡・通報や運搬も含む応急手当の手順や方法を身に付けるとともに、自ら進んで行う態度が必要であること、さらに、社会の救急体制の整備を進めること、救急体制を適切に利用することが必要であることを理解している。</p> <p>日常的な応急手当 日常生活で起こる傷害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解している。</p> <p>実際に応急手当ができる。</p> <p>心肺蘇生法 心肺停止状態においては、急速に回復の可能性が失われつつあり、速やかな気道確保、人工呼吸、胸骨圧迫、AED（自動体外式除細動器）の使用などが必要であること、及び方法や手順について、実習を通して理解している。</p> <p>AEDなどを用いて心肺蘇生法ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。</p> <p>安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明ができる。</p> <p>現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 応急手当の意義、日常的な応急手当、心肺蘇生について、課題の解決に向けての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
合計							35

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 音楽Ⅰ

教科：芸術 科目：音楽Ⅰ 単位数：2 単位
 対象学年組：第1学年 1組～6組

使用教科書：（教育芸術社「MOUSA1」）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】 音楽の文化的・歴史的背景などとの関わりや音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 主体的・協動的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

科目 音楽Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協動的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		歌	器	創							
1 学 期	A 独唱 【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組む。	①校歌 ②花は咲く	○				【知識及び技能】 曲唱と歌詞との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、歌詞の発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や声の音色を理解して、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 曲にふさわしい発声に関心をもち、主体的・協動的に歌唱の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	10
	B ギター独奏① 【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組む。	①キラキラ星 ②ぶんぶんぶん ③ハッピーバースデー		○			【知識及び技能】 曲想とギターの基本的な奏法との関わりについて理解している。楽曲にふさわしい奏法などの技能を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色や和音の響きを知覚し、それらの働きを感じながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 ギター独奏に関心をもち、主体的・協動的に器楽の活動に取り組んでいる。	○	○	○	14
	C ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組む。	ミュージカル映画 「天使にラブソングを1」				○	【知識及び技能】 作品の楽曲の特徴や作品の時代背景、舞台作品としての表現方法を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 リズムと旋律の関係を知覚して、それらの働きを感じ、音楽の美しさや特徴をとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物語や登場人物、それぞれのナンバーに関心をもち、主体的・協動的に歌唱や鑑賞の活動に取り組もうとしている。	○	○	○	2

2 学 期	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組む。	①'0 sole mio ②Heidenröslein ③おお シャンゼリゼ ④茉莉花 ⑤アリラン	○	○	D 世界の歌 【知識及び技能】 言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解している。創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、楽曲にふさわしい発声、言葉の特徴をとらえた発音などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 旋律や歌詞と楽曲の美しさとの関わりについて考え、どのように歌唱表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の歌曲に興味関心をもち、楽曲の雰囲気をもって、主体的・協働的に歌唱活動に取り組んでいる。	○	○	○	10
	E キーボード独奏 【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感受し、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	歓喜の歌	○	○	【知識及び技能】 音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感受し、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 キーボードの演奏に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	14
	F ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞する。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付ける。	ミュージカル映画 「ハイスクールミュージカル1」	○	○	【知識及び技能】 作品の特徴や文化的背景を理解し、楽曲の良さを感じ取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを理解しながら鑑賞することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 豊かな表現方法を分析し、多角的な演奏法を身に付けている。	○	○	○	2
3 学 期	G 合唱 【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	3部合唱 心の瞳	○	○	【知識及び技能】 曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】 合唱に興味関心をもち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。	○	○	○	7
	H 和楽器 【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解する。箏の取り扱い、調弦方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感受しながら美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組む。	箏 ①たこたこあがれ ②お寺のおしょうさん ③さくらさくら	○	○	【知識及び技能】 日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について理解している。箏の取り扱い、調弦方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを感受しながら美しさを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的な音楽に興味関心をもち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。	○	○	○	7

<p>I 創作</p> <p>【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組む。</p>	<p>箏を用いた音素材での創作</p>				○ ○	<p>【知識及び技能】 日本音階を理解し、陰音階を使用して即興的な旋律を創作できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 どのように創作すると表現が増すのか、工夫できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組むことができる。</p>	○ ○ ○		4
									合計
									70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教科：芸術 科目：美術 I 単位数：2 単位
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（光村図書「美術1」）

- 教科 芸術 の目標：
- 【知識及び技能】 芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
●知識 ・造形要素の働きの理解 ・造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることの理解 ●技能 ・意図に応じて材料や用具の特性を生かす ・表現方法の創意工夫、主題を追求し創造的な取り組み	創造的な表現の工夫などできるようにする。 ①主題の生成 ・自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成する。 ②構想を練る ・表現形式の特性を生かし、フォルムや色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 芸術のよさや美しさを深く味わうことができるようにする。 ●美術や美術文化に対する価値意識の拡大、新たな価値を見出したりできるようにする。	●学びに向かう力 ・主体的に美術の幅広い創造活動に取り組む。 ●人間性等 ・我が国の芸術文化に対する理解や、生涯にわたり美術を愛好する心情を育む。 ・感性を高め、美術文化に親しむ。 ・心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ	映							
1 学 期 おどろき盤の制作 【知識及び技能】 ・映像表現の視覚的な要素の働き ・機器等の用具の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題の追求、創造的な表現 ・表現方法の創意工夫 ・機器等の用具の特性を生かした利用 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度	【指導事項・内容】 ・マジックロール ・キャラクター設定 ・「動き」の生成（原画制作） ・機材の使用法 【教材】 ・VTR資料 ・ワークシート ・トレース台など				○	○					26
2 学 期 平面（色彩）構成 「テーマに沿った効果的な配色」 【知識及び技能】 ・色彩の基礎 ・配色の理解 【思考力、判断力、表現力等】 ・課題の理解 テーマを自分で決定し、配色の理由が述べられるようにする。 自分の「テーマ」を伝えるために使用する色を考えさせる。 効果的に色彩を対比させ、美しい作品を制作させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に学習に取り組む態度を養う ・指摘した点を、改善させる	【指導事項・内容】 ・課題（ルール）の理解させる ・「伝わる」について ・適切な色彩を選択、完成に向け効果的な提案を行う。 【教材】 ・ワークシート ・画用紙 ・画材一式など				○	○					26

3 学 期	モビールの制作	【指導事項・内容】 ・コンクリートによる土台制作 ・「美しい」形（フォルム）の追求 ・バランスと構成の追求 【教材】 ・ワークシート ・紙・糸・竹ひごなど	○	○	【知識及び技能】（作品） ・フォルムとバランスの追求 ・用具の正しい使用と積極的な工夫 【思考力、判断力、表現力等】（作品） 思考力 ・イメージの追求：自分が考える「美しい形（フォルム）」 判断力 ・バランスを考えた形の組み合わせ ・形に対する適切な大きさ、色彩の追求 ・客観的な「動き」の改善 表現力 ・配色や模様、構成の工夫 【学びに向かう力、人間性等】 ・試作の修正を繰り返すことでイメージに近づけようとしている ・丁寧な作業による高い完成度	18
					合計 70	

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 芸術 科目 書道 I

教科：芸術 科目：書道 I 単位数： 単位 2
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（光村図書「書道 I」）

教科 芸術 の目標：芸術に親しむ心を養い感性を豊かにし、書の良さや美しさを感じ取り、情操を豊かにする。
 【知識及び技能】 芸術に関する各教科の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身につけるようにする。
 【思考力、判断力、表現力等】 創造的な表現を工夫したり、芸術の良さや美しさを深く味わったりすることが出来るようにする。
 【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むと共に、感性を高め心豊かな生活や社会を想像していく態度を養う。

科目 書道 I の目標：漢字文化圏の伝統芸術である書の美を学び、文化史の一端と捉え、書写力の向上と文字に関する教養を深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
感性を豊かにし、書を愛好し、書の良さや美しさを感じ取り、創造的な表現を工夫し、書写能力高め、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとする。	書の効用や表現を幅広く理解し、自己を主体的に表現するために、基礎的な技能を身につけている。	書が生活の中で果たしている役割、書の文化や伝統を幅広く理解し、実用的な表現や芸術的な表現の基礎的な技能を身につけている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮	鑑 賞					
1 学 期	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している	硬筆『学校』 筆順テスト 自分の氏名		○		○漢字に興味を持ち、その成り立ち、筆順・部首・部首名の知識を身につけている。 ○漢字の象形を考え、意味・内容を考えている。 ○漢字の成り立ちに興味を持ち、自分の名前の成り立ちを主体的に調べ、意味を理解している。	○	○	○	4
	書を構成する要素についてそれらの祖語の関連がもたらす働きと関わらせて理解している	楷書体基本用筆 『三川』『人口』『元水』『日月』		○		○表現技法の基礎・基本を身につけ、書写能力の向上に努めている。 ○古典の美と、その技法に関心を持ち、表現技法を高めようとしている。 ○自らの感性や自発的な意図に基づいて、字形・全体の構成の工夫に取り組んでいる。 ○字形や線質と筆者の感興と意図との関わりに関心を持ち、意欲的に古典の美とその技法を学んでいる。 ○漢字の書の意欲的な表現活動を通して、意図的・主体的に表現の構想から完成に至るまでの充実感や喜びを味わっている。	○	○	○	8
	書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している	臨書 孔子廟堂碑「天河」 九成宮醴泉銘「清泉」 雁塔聖教序「春光」		○		○漢字の書の美に対する感性を養い、意図に基づく表現の構想を工夫している。 ○古典の美とその技法を学び、普遍性のある表現力を身につけている。 ○漢字の書の構築的な構造や変化と統一などを理解し、字形全体の構成を工夫している。 ○自己の表現のねらいを達成する為に、古典の持つ伝統的な美を感受し表現方法を工夫している。	○	○	○	8
	古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身につけている	臨書 顔氏家廟碑「守道」 牛嶺造像記「妙楽」 鄭義下碑「」		○		○基本的な点画や線質の表し方と、用筆・運筆の関係を把握している。 ○漢字の書の構築的な構造、変化と統一などを理解し、字形・全体の構成を工夫している。 ○自己の表現のねらいを達成するために古典の持つ伝統的な美を感受し、表現方法を工夫している。	○	○	○	8
2	用筆・運筆から生み出される書の表現性とその表現効果との関わりについて理解している	行書体臨書 王羲之『蘭亭序』 「天朗」 「氣清」 「恵風」		○		○基本的な用具・用材に関する知識や扱い方を身につけ、用具・用材と表現との関係に関心を持っている。 ○漢字の行書体に関心を持ち、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行っている。 ○漢字の行書体の字形について関心を高め、自らの構想に基づいて意欲的・主体的に活動を行っている。	○	○	○	10

年間授業計画 様式例

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 3 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（三省堂「MY WAY English Communication Ⅰ」）

- 教科 外国語 の目標：
- 【知識及び技能】 音声や語彙、表現、文法、言語の理解を深め、実際の場面で適切に活用できる技能を身につける。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 日常的な話題や社会的な話題について情報や考えの要点を理解し、適切に表現できる技能を身につける。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化を理解し、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いる態度を身につける。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きを理解し、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける。	コミュニケーションを行う目的に応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどを話し手や書き手の意図などを的確に理解しながら表現する技能を身につける。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図る態度を身につける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 「 や 」	話 「 発 」	書					
Lesson1: Proverbs Around the World 【知識及び技能】 世界各地の特徴的なことわざについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 各地のことわざの共通点や違いを意識し、ことばと文化のつながりについて考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ことわざについてやり取りをする	・指導事項 現在形・過去形・進行形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	○	○	○	○	○	10
Lesson2: Iwago Mitsuaki 【知識及び技能】 写真家岩合さんの生き方や考え方について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 人間は動物から学ぶべきだというメッセージについて考える 【学びに向かう力、人間性等】 図書室に飾る写真についてやり取りし、発表する	・指導事項 助動詞・受身形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	○	○	○	○	○	10
1 学 期 定期考査							○	○			1
Lesson3: Sending canned Mackerel to Space 【知識及び技能】 新しい宇宙食を高校生が開発した経緯について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 宇宙食の特徴と高校生の創意工夫を理解し、自分たちの可能性について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 宇宙で食べたい日本の食べ物についてやり取りし、発表する。	・指導事項 動名詞・to不定詞 ・教材 ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	○	○	○	○	○	10
Lesson4: Messages from Winnie-the-Pooh 【知識及び技能】 「クマのプーさん」に込められたメッセージについて学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 友情についての普遍的なメッセージを読み、文学作品への興味を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の物語についてやり取りをする。	・指導事項 現在完了形・現在進行形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等		○	○	○	○	○	○	○	○	10
定期考査							○	○			1

2 学 期	Lesson 5 Endangered languages 【知識及び技能】 絶滅の危機にある世界の言語について学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 世界の言語の現状を知り、言葉の持つ力や存在意義について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 英語以外に学びたい言語についてやり取りをする。	・指導事項 現在完了形・現在完了進行形 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等						【知識・技能】 絶滅の危機にある世界の言語について学んでいる。 【思考・判断・表現】 世界の言語の現状を知り、言葉の持つ力や存在意義について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 英語以外に学びたい言語についてやり取りをしている。」					10
	Lesson 6 A Wheelchair Traveler 【知識及び技能】 三代達也さんの世界旅行の経験と、そこで気づいたことについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 バリアフリー社会の実現のために必要なことについて、認識を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 旅行者に勧める日本の都市についてやり取りする。	・指導事項 現在分詞・過去分詞・分詞構文 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等						【知識・技能】 三代達也さんの世界旅行の経験と、そこで気づいたことについて学んでいる。 【思考・判断・表現】 バリアフリー社会の実現のために必要なことについて、認識を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 旅行者に進める日本の都市についてやり取りや発表をすることができている。					10
	定期考査												1
2 学 期	Lesson 7 The Fugees 【知識及び技能】 米国で難民の子供たちのサッカーチームができた経緯について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 難民の抱えている困難とその対処の実例について知り、共生について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 海外からの移住者に対してできる活動についてやり取りする。	・指導事項 関係副詞・比較級・最上級 ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等						【知識・技能】 米国で難民の子供たちのサッカーチームができた経緯について学んでいる。 【思考・判断・表現】 難民の抱えている困難とその対処の実例について知り、共生について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 海外からの移住者に対してできる活動についてやり取りをしている。					10
	Lesson 8 Avatar Robots 【知識及び技能】 ロボットと製作者の吉藤健太朗さんについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 ロボットと人間の関係について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ロボットの在り方についてやり取りする。	・指導事項 仮定法・I wish～ ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等						【知識・技能】 分身ロボットとその製作者の好父子さんについて学んでいる。 【思考・判断・表現】 ロボットによって可能になる新しい社会の歩い方について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ロボットの在り方についてやり取りをしている。					10
	定期考査												1
	Lesson 9 Ksdono Eiko and the power of Imagination 【知識及び技能】 作家角野栄子さんの作品と想像力の関係について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 角野さんの体験と創作の源について知り、自分の将来について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 卒業後の暮らし方について発表する。	・指導事項 SV00, SV0C ・教材 教科書や音声データ ・一人1台端末の活用 等						【知識・技能】 作家角野英子さんの作品と想像力の関係について学んでいる。 【思考・判断・表現】 角野さんの体験と創作の源について知り、自分の将来について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 卒業後の暮らし方について発表ができています。					10

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭 科目： 家庭基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ 第一学習社「高等学校 家庭基礎 持続可能な未来をつくる」 ）

- 教科 家庭 の目標：
- 【知識及び技能】 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A これからの生き方と家族 【知識及び技能】 生涯を見通しながら、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める 【思考力、判断力、表現力等】 現代の家族の特徴、家庭の機能と家族関係、家庭を支える労働、家族・家庭の意義や社会とのかかわり、男女が協力して家庭を築く珊瑚の重要性について考える 【学びに向かう力、人間性等】	・生涯の生活設計 ・家族・家庭と社会のかかわり	【知識・技能】自分や人の一生についての考えをまとめることができる。結婚、家族・家庭の多様化や、時代と共に変化する役割について理解できる。 【思考・判断・表現】人生の各ライフステージの特徴と課題について知り、社会状況を考えながら、自分の生活や将来について考えを深め、表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】現在の自分のこと、将来の生活設計を考えることについて、意欲を持って取り組もうとしている。結婚や家族について、自分とどう関わっているのか、興味・関心を持とうとしている。	○	○	○	8
	B 衣生活をつくる 【知識及び技能】 TPOを考えた着装ができる。衣服製作を通して、衣服の構成や基礎的な縫製技術を身につける。衣服素材の種類と特徴、衣服素材について理解し、用途に応じた素材の選択ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 私たちの衣生活が環境や世界とどのようにつながっているのかを理解する 【学びに向かう力、人間性等】	・人の一生と被服 ・被服材料と管理 ・これからの衣生活	【知識・技能】衣服の素材の種類や特徴について知識を身につけ、用途に応じてどんな衣服が適切か理解できる。 【思考・判断・表現】現在の衣生活をとりまく状況について、自分の衣生活を振り返りながら、課題を導き出すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の衣生活について関心を持ち、衣生活の改善・向上に積極的にとりくもうとする。基礎縫いの確認のための実習において、積極的にとりくもうとする。	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	C 経済生活をつくる 【知識及び技能】 生活における経済と社会のかかわりについて気づき、消費者として自立できるよう消費者の権利と責任について考え、消費において自主的に行動することの必要性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日々の暮らしの中で、持続可能な社会をめざした行動をすることができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】	・私たちの暮らしと経済 ・消費者問題を考える ・持続可能な社会をめざして	【知識・技能】消費行動における意思決定の過程とその重要性について理解でき、契約についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】多様化する販売方法や支払い方法について、問題点や解決策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】自分の経済的自立を考えながら、短期・長期の経済計画について意欲的にとりくもうとしている。消費行動と環境とのかかわりについて、生活と関連させながら課題をみつけようとしている。	○	○	○	10
	D 食生活をつくる 【知識及び技能】 栄養、食品、調理などについて科学的に理解し、食文化に関心を持ち、食品の選択や調理などの技術を習得して、豊かで充実した食生活を営めるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする	【知識・技能】栄養・食品に関する科学的な知識や調理の技術を身につけ、それを実際の食生活に生かすことができる。 【思考・判断・表現】自身の食生活や現在の食生活の課題を発見し、課題解決のために思考し、解決策を考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】調理実習において、作業の流れを判断しながらとりくもうとしている。	○	○	○	16

	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	D 次世代をはぐくむ 【知識及び技能】 子どもの発達と保育、福祉などについて理解するとともに、子どもの健全な発達を支える親の役割と保育の重要性や、社会の果たす役割について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子育て支援と福祉	【知識・技能】子どもの心身の発達や子どもの生活についての知識を身につけている。 【思考・判断・表現】子どもの生活やとりまく環境、また、現在の子育ての環境や地域社会や国の支援策や課題などについて考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】子どもをとりまく状況について、現状を知り、その課題を見つけ、解決に向けて考えようとしている。	○	○	○	12
	E 住生活をつくる 【知識及び技能】 住居の機能、家族の家庭生活の場としての住空間の計画、健康や安全に留意した住環境の整備などについて科学的に理解し、住生活の管理や環境整備に必要な技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・人の一生と食事 ・栄養と食品 ・食生活の安全のために ・食生活をデザインする	【知識・技能】住まいの機能・役割、またライフステージや家族構成などと住まいの関係について理解している。 【思考・判断・表現】ライフステージと住空間の設計の関係、住環境について考えを深めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】住まいの機能、住空間の計画や住環境について関心を持ち、快適な住まいづくり、よりよい住生活の創造にむけて意欲的にとりくもうとする。	○	○	○	6
	F 充実した生涯へ・ともに生きる 【知識及び技能】 高齢者の加齢に伴う心身の変化と特徴、高齢者の生活、高齢者福祉の基本的な理念と高齢者福祉などについて理解するとともに、高齢者の自立を支えるために家族や地域、社会の果たす役割について考える。 【思考力、判断力、表現力等】 人の一生と社会福祉について考え、社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。 【学びに向かう力、人間性等】	・高齢期の生活 ・社会保障制度と社会的連帯	【知識・技能】高齢社会の現状や高齢者の心身の特徴について理解している。 【思考・判断・表現】社会福祉や生涯を通しての社会保障制度のしくみについて、現在の生活課題と関連させながら考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】高齢社会の現状、高齢者の心身の特徴や生活について積極的に知ろうとしている。	○	○	○	6
						合計	70

高等学校 令和6年度（1学年用） 教科 産業社会と人間 科目 産業社会と人間

教科： 産業社会と人間 科目： 産業社会と人間 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（ なし ）

- 教科 産業社会と人間 の目標：
- 【知識及び技能】 ・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。
 - 【思考力、判断力、表現力等】 ・地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。
 - 【学びに向かう力、人間性等】 ・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

科目 産業社会と人間 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・地域社会における自己の在り方生き方について考えるために必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、学習に取り組むことの意義や価値を理解している。	・地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。	・地域社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うとともに、生徒が主体的に自己の将来の生き方や進路についての考察を行い、履修計画を作成している。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 1. 職業レディネス・テスト 2. 上級学校訪問 3. 人生グラフ 4. 学生ファシリテータによる進路説明会 5. 選択科目説明会 6. オープンキャンパス事前指導	【知識・技能】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動を通して、キャリアについて理解を深め、各教科・科目の履修計画の作り方を理解している。 【思考・判断・表現】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動の中で、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自己を客観的に分析することや、他者の進路に対する考えに触れる活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。	○	○	○	26
	【単元1】 様々な価値観に触れながら、自己理解を深め、キャリアに対して主体的に考えられる。	【指導事項】 1. オープンキャンパス事後指導 2. 高校生活の目標作成	1学期単元1と同一評価	○	○	○	8
2 学 期	【単元2】 ビジネスアイデアを作成する流れを学ぶ。	【指導事項】 1. ビジネスアイデアはどのように作られるかを知る。 2. ターゲットを定める方法、優れたアイデアを作成する方法を学ぶ。 3. グループでまとめたアイデアをまとめ、表現する。	【知識・技能】 ビジネスアイデアを作成する流れを活用し、課題の発見・解決するために必要な情報の得方や、整理の方法を理解している。 【思考・判断・表現】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習のなかで、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスアイデアを作成する流れを知る学習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造しようとしている。	○	○	○	10

	<p>【単元3】 職業人として活躍するために大切な能力や考え方についてインタビューを通して学び、望ましい勤労観、職業観を身に付ける。</p>	<p>【指導事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業所調べ 2. ビジネスマナー講座 3. アポイントメント 4. 質問状づくり 5. 職業人インタビュー 6. お礼状作成 7. 情報共有 	<p>【知識・技能】 職業人として活躍するために大切な能力や考え方についてインタビューを通して学び、自己の将来の生き方や進路について考察する材料を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 職業人として活躍するために大切な能力や考え方を理解するために、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 職業人として活躍するために大切な能力や考え方を理解する活動に対して、主体的・協働的に取り組もうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい生き方を考えようとしている。</p>	○	○	○	14
3 学期	<p>【単元4】 地域の思いや課題を知り、自分自身ができることを提案する。</p>	<p>・指導事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町田市の概要 2. 地域の課題や地域の思い 3. アイディア整理シート作成 4. 中間発表 5. プレゼン資料作成 6. マッチング会 	<p>【知識・技能】 地域社会における自己の在り方生き方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ビジネスアイディアを作成する流れを活用し、地域社会と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 地域社会に、主体的・協働的に関わろうとしているとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとしている。</p>	○	○	○	12
							合計
							70